

欧州委員会、「イノベーション・ユニオン・スコアボード2010」を公表

2011年2月4日

JETRO デュッセルドルフセンター

欧州委員会は、2月1日、欧州諸国のイノベーションの実績を比較した「イノベーション・ユニオン・スコアボード2010」を公表した。2001年から欧州委員会が発表している欧州諸国の“イノベーションの成績表”とも言えるものであり、欧州委員会からの委託によりマーストリヒト・イノベーション研究所が、欧州委員会の共同研究センターと協力して調査を行い、イノベーションの実施に関するランク付けを行ったもの。前年まで「欧州イノベーション・スコアボード」と呼ばれていたが、2010年10月に、欧州委員会が「イノベーションユニオン」と題するコミュニケーションを採択したことにより、名称が変更された。

イノベーション実現のための要因、企業活動、イノベーションによる成果の3つのカテゴリーに分類される25の指標を基に各国のスコアを算出しており、調査対象は、27のEU加盟国のほか、クロアチア、セルビア、トルコ、アイスランド、マケドニア旧ユーゴスラビア、ノルウェー、スイスの非EU加盟国の欧州諸国と、競争相手として米国、日本、ブラジル、中国、インド、ロシアを含む。EU加盟国の中では、1位：スウェーデン、2位：デンマーク、3位：フィンランドの順となっており、北欧諸国におけるイノベーションが活発に行われていることが理解できる。欧州諸国のスコアは、以下のとおり4のグループに分類される（スコアの高い順、また、括弧内は非EU加盟国）。

1. EU平均の20%以上

（スイス）、スウェーデン、デンマーク、フィンランド、ドイツ

2. EU平均の-10～20%

英国、ベルギー、オーストリア、オランダ、アイルランド、ルクセンブルク、フランス、キプロス、（アイスランド）、スロベニア、エストニア

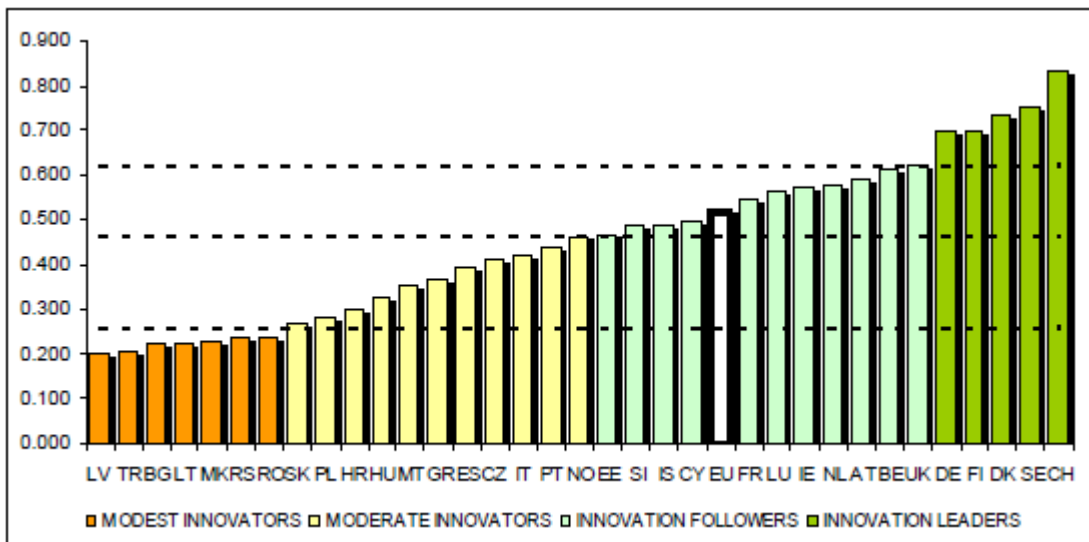
3. EU平均の-50～-10%

（ノルウェー）、ポルトガル、イタリア、チェコ、スペイン、ギリシャ、マルタ、ハンガリー、（クロアチア）、ポーランド、スロバキア

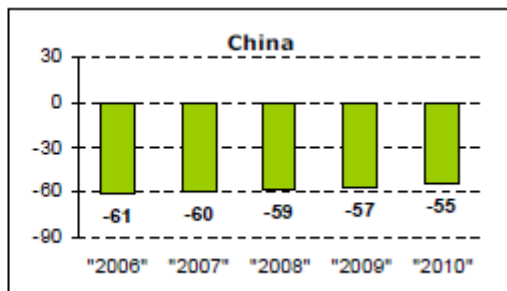
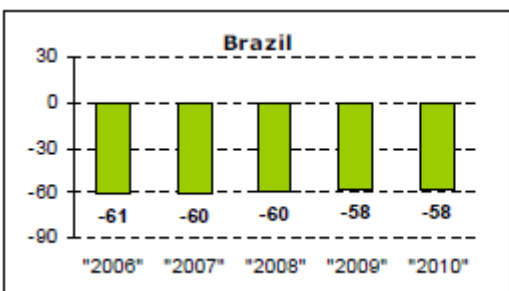
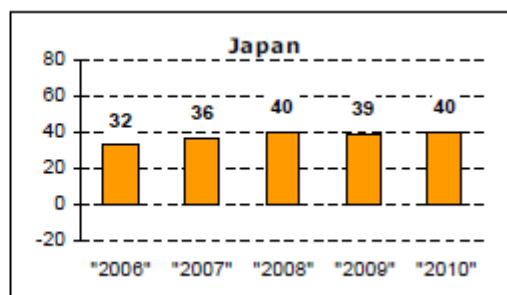
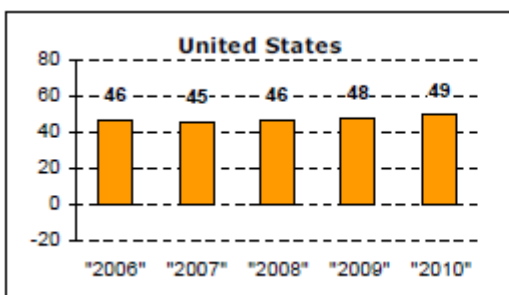
4. EU平均の-50%以下

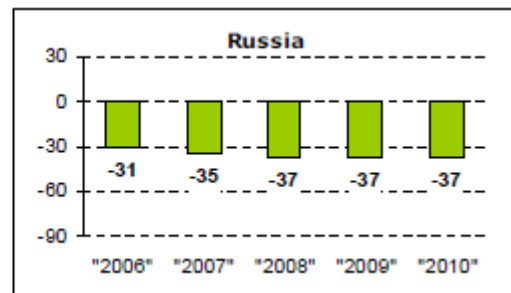
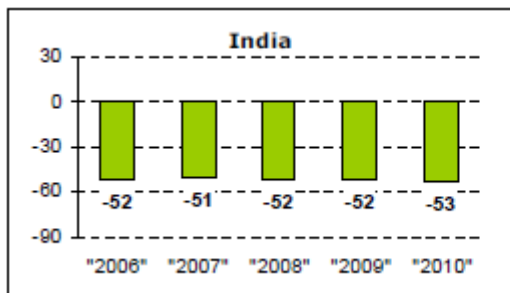
ルーマニア、（セルビア）、（マケドニア旧ユーゴスラビア）、リトアニア、ブルガリア、（トルコ）、ラトビア

次のグラフは、上記の欧州諸国について、最低0～最高1の範囲で数値化したイノベーションの総合指数をまとめたものであり、EU平均値は0.516となっている。



さらに、次のグラフは、欧州以外の競争相手国のスコアのEUのスコアに対する割合(%)を示したものであるが、米国と日本がEUを大きく引き離しており、依然としてその差は縮まっていない。スコアボードには、GDPに占める海外からのライセンスおよび特許収入の割合と、GDPに対するPCT出願件数の割合において、日本がEUを大きく引き離していることが報告されている。また、EUを追従するブラジルおよび中国はその差を縮めている一方で、インドおよびロシアとの差に大きな変化は見られていない。





— 報告書の本文は、以下参照 —

[INNOVATION UNION SCORE BOARD 2010](#)

— イノベーションユニオンについては、以下参照 —

[欧州知的財産ニュース 2010年9～10月号 \(Vol. 40\)](#)

(以上)